



しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行こう 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO.16
(通巻85号)
平成27年(2015)
10月13日(火)

『はきものをそろえる』

校長 飯野 博史

はきものを そろえる

藤本幸邦

はきものを そろえると 心もそろう
心がそろうと はきものもそろう

ぬぐときに そろえておくと
はくときに 心がみだれない

だれかが みだしておいたら
だまって そろえておいてあげよう

そうすればきっと

世界中の 人の心も そろうでしょう

※ 藤本幸邦…長野県円福寺の住職として、

終戦直後から戦災孤児救済運動を推進

後期が始まりました。前期同様、ご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

来週24日(土)の「学習発表会・合唱コンクール」に向けて、準備を着々と進めているところです。合唱では、学級の心を一つにすることが大切です。しかし、「心を一つにしよう」といってもなかなか難しいことです。そこで、今日の始業式で「まず、見えるところ、簡単にできるところからそろえていこう」という話をし、この詩を紹介しました。

私は「日本を美しくする会・東京掃除に学ぶ会」の「便教会」(教師のためのトイレ掃除研修会)でこの詩に出会いました。ホームページで調べてみると次のよう紹介されていました。(以下、ホームページ「コトバノチカラ」から転載しました)

「禅の修行寺の玄関には『脚下照顧(きやっかしょうこ)』という札が立ててあるそうです『自分の足元を見よ』『自分の行いを見よ』と言う意味ですが、それを子どもにも分かるように、そしてそれがいつも行動として身につくようにと考えたのがこの詩なのだそうです」(次は藤本氏のインタビューより抜粋です)

『はきものをそろえる』という言葉には、『脚下照顧』、『自分の足元を見よ』『自分の行いを見よ』と言う意味と、もう一つ深い意味があるのです。人間はすべて二つでバランスをとっているのです。右足と左足の二つがあるから歩くことができるのです。目も二つ、耳も鼻の穴も二つ、手も二つでしょう。脳も大脳・小脳二つ。この世の中は全部二つ、二つを揃えることが大切なのです。『口はひとつでしょう』と言う人がいましたが、入る口と

出る口があるのです。善があれば悪がある。肉体があるから精神があるのです・・・

誰かのはきものが、みだれていたら、黙ってそっとそろえてあげられるような人こそが、本当に思いやりのある人なのだと思います。そんな人がひとりでも増えれば、そんな子供が沢山育てば世の中は、もっともっと素敵なものになるでしょうね」

後期、まずは学習発表会の取組を通して学級や学年、学校が一つにまとまるように指導していきます。運動会や区連体同様、練習への取組、過程を重視していきます。応援よろしくをお願いいたします。

今年度の「学習発表会」では「二胡」の演奏を鑑賞することになりました。特別ゲストとしてプロの演奏家をお招きします。詳しくは、次号でお知らせする予定です。芸術の秋、「二胡」の演奏もぜひお楽しみに。

■心を磨く「トイレ掃除」実施 11月15日（日） 8：30開始

今年度も「日本を美しくする会・東京掃除に学ぶ会」と学校との共催で「トイレ掃除」を行います。今回で4回目となり、恒例行事となりました。毎年、200人を超える方の参加があり、学校中のトイレがピカピカになります。不思議なことに「トイレ掃除」を通して心もきれいになります。

学校行事ではありませんので、生徒は自主的な参加となりますが、八中に在籍しているうちに一度は参加してみてください。保護者の方も、ぜひ一度はご参加ください。班編制のため事前の申し込みが必要です。10月15日（木）ご案内を配布します。ご確認の上、11月6日（金）までにお申し込みください。

なぜ、トイレ掃除か

※「日本を美しくする会」
ホームページをご覧ください

1 謙虚な人になれる

どんなに才能があっても、傲慢な人は人を幸せにすることはできない。人間の第一条件は、まず謙虚であること。謙虚になるための確実で一番の近道が、トイレ掃除です。

2 気づく人になれる

世の中で成果をあげる人とそうでない人の差は、無駄があるか、ないか。無駄をなくすためには、気づく人になることが大切。気づく人になることによって、無駄がなくなる。その「気づき」を最も引き出してくれるのがトイレ掃除です。

3 感動の心を育む

感動こそ人生。できれば人を感動させるような生き方をしたい。そのためには自分自身が感動しやすい人間になることが第一。人が人に感動するのは、その人が手と足と体を使い、さらに身を低くして一所懸命取り組んでいる姿に感動する。特に、人のいやがるトイレ掃除は最良の実践です。

4 感謝の心が芽生える

人は幸せだから感謝するのではない。感謝するから幸せになれる。その点、トイレ掃除をしていると小さなことにも感謝できる感受性豊かな人間になれます。

5 心を磨く

心を取り出して磨くわけにいかないのです、目の前に見えるものを磨く。特に、人のいやがるトイレをきれいにすると、心も美しくなる。人は、いつも見ているものに心も似てきます。

※ 以上、「日本を美しくする会 掃除に学ぶ会」公式ホームページから転載しました

■お知らせ

外国語海外派遣研修が終了し、英語科並木光市先生が帰国しました。早速、今日から学校に復帰しましたのでお知らせいたします。

並木先生の代わりに授業を担当してくださった齋藤綾華先生、ありがとうございました。齋藤先生には今後も、サタデースクールなどでご指導をお願いしています。